

去る5月8日に社団法人日本経営士会千葉支部の新生第2回(通算第55回)定時総会が執り行われました。折しも本部役員改選の時期であり、鶴岡支部長が立候補し見事当選を果たしました。新支部長として西村副支部長が引き継ぐ形で新体制が発足いたしました。よろしくご協力のほどよろしくお願いいたします。

ごあいさつ

(社)日本経営士会 千葉支部

支部長 西村 豊

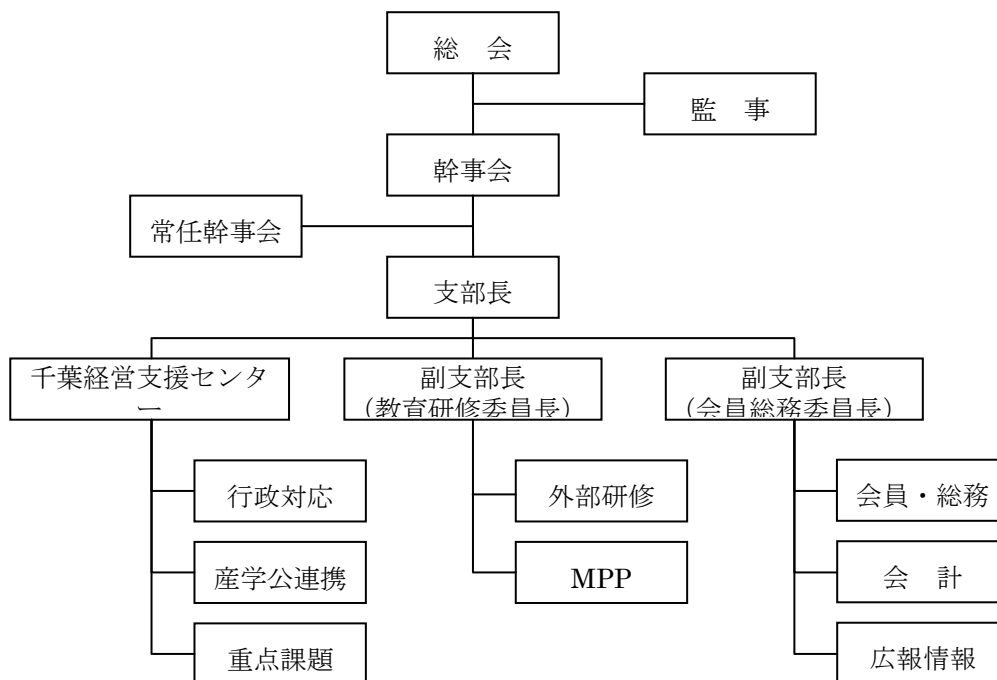
このたび鶴岡義明前支部長の後任として社団法人日本経営士会千葉支部長を務めさせて頂くことになりました。支部活動の発展に微力ながら貢献できるよう努力して参りますので、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

日本経営士会は一つの転機を迎えようとしています。平成20年12月、公益法人制度の改正に伴い社団法人日本経営士会の生き方が見直されてきていることはご承知のとおりであります。千葉支部は一昨年、県会より支部に移行され、私は2年間副支部長を勤めさせていただきました。その間、会員の皆様に少しでもお役に立てるよう、各種研修会、見学会等の企画実施を行ってまいりました。しかし、今感じていることは、「いくら会員の相互研鑽で会員個人のレベルが上がったとしても、自ら活動を起こさないと世間は認めてくれない」と言うことです。世間は待っていても寄って来てはくれません。我々が積極的に行動を起こし、社会的に貢献出来る活動の場を見つけ、活動を起こし、そしてそれを世間から評価されることが大切であると考えます。これが、今の日本経営士会、経営士の社会的地位向上の第一歩ではないでしょうか。

千葉支部では、その為にこれまでの幹事会にあった「社会貢献委員会」を「千葉経営支援センター」と名を改め、外向きの活動に力を入れて参ります。我々の強みは個人の「ネットワーク」です。これを「組織活動」として一つに纏め上げれば大きな力となります。その為には、会員の皆様と目標を共有し一緒に活動をしていくことが必要です。その目標とは、「経営士の知名度アップと社会的地位の向上」です。会員の皆様の、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

①. 支部組織

組織体制は、日本経営士会精神で社会貢献するために設置する。



支部役員

支 部 長 西村 豊
 幹 事 鈴木伸一
 山田 一
 林 久雄
 中嶋清介
 小塚彦明
 榎田國男
 大塚亜喜雄
 千葉道生
 上條靖芳

監 事 岩野邦久
 藤江隆平
 相 談 役 河井成夫
 若月英司
 鶴岡義明

平成20年度千葉支部事業推進組織（案）

職名	会員名	役割・内容
常任幹事会		
支部長	西村 豊	組織を統轄し、各職務を企画・遂行を推進
副支部長	鈴木 伸一	支部長を補佐し、各委員会職務の企画・遂行を推進
副支部長	山田 一	支部長を補佐し、各委員会職務の企画・遂行を推進
運営委員会		
会員総務	鈴木 伸一	規則整備、会則遵守、会員動向把握、会員増強、HP活性化
会員・総務	鈴木 伸一	会員増強・満足度管理、会員得意分野の明確化、各議事録作成
広報情報	上條 靖芳	会員間の情報環境、本部への支部報告、地域PR
会計	大塚 亜喜雄	会計、予算・決算
教育研修	山田 一	研究会推進、月例研修会、成果物作成、商品開発
外部研修	林 久雄	各支部と連携、本会支援団体等と連携
M P P	中嶋 清介	M P P 研修及び商品化、M P P の外部売り込み
千葉経営支援センター		
センター長	支部長兼任	センター運営・統括 対外事業開発、渉外活動と社会貢献
行政対応	千葉 道生	行政施策対応、渉外活動
産学公	小塚 彦明	地域産業界と地域教育機関の交流
重点課題	榎田 國男	医療・介護・福祉における社会問題に対する地域社会への貢献
監事		
監査	岩野 邦久	支部事業運営と会計監査
監査	藤江 隆平	同上

第55回（千葉支部第2回）定時総会開催

平成22年5月8日（土）午後1時より、千葉支部となって2回目の経営士会千葉支部の総会が、開催されました。

山田会員の開会のことばの後、物故会員の黙祷を行い、その後鶴岡支部長のあいさつがありました。今役員選挙におきまして鶴岡支部長は本年理事選に出馬し本部理事に当選されたため、後任として西村副支部長が新支部長として立候補し当選されました。

議長として鶴岡支部長が選出され、議事に入りました。

まず、鈴木副支部長より平成21年度の事業報告が行われ、全国研などの成果が報告されました。同じく収支報告は山田会計担当監事より平成21年度の収支報告が行われ、監事が欠席のため、小塚監事が監査報告を代読し、平成21年度に関する審議事項は決議されました。

鶴岡支部長より選挙結果の報告の後、議長が西村新支部長へ引き継がれ、引き続き、平成22年度の事業計画が審議されました。

西村新支部長より支部運営方針として、原点回帰をキーワードに新しい支部の運営方針を発表され、新年度の事業説明があり、最後に大塚新会計担当監事より平成22年度の収支予算の説明がありました。

本年度は、本部の支部規定改正により、千葉支部規約が改正となります。鈴木副支部長より規約改正点が説明され、平成 22 年度事業計画とともに議決されました。

総会終了後、上田隆一本部専務理事より、「地球環境問題から見た農商工連携事業の考察」と題して、記念講演が行われ、興味深いお話をたくさんお話いただきました。その後会場を移して懇親会が開かれ、来賓、講師も参加して楽しいひと時を過ごすことができました。

会 場：千葉市 京葉文化プラザ
議 長：鶴岡義明、西村 豊 会員
書 記：林 久雄 会員、中嶋清介 会員
議事録署名人：榎田国男 会員、鈴木弘道 会員

支部長あいさつ 鶴岡義明 支部長
新支部長あいさつ 西村 豊 新支部長

審議事項

- (1). 平成 21 年度事業報告承認の件
- (2). 平成 21 年度決算報告承認の件
- (3). 平成 21 年度監査報告の件
- (4). 平成 22 年度事業計画(案)承認の件
- (5). 平成 22 年度予算(案)承認の件
- (6). 支部規定改正の件

来 賓

(社)千葉県経営者協会

専務理事 花澤和一 様
業務部主査 亀山 哲 様
労務法制部長 大矢重遠 様
事務局次長 中山輝雄 様

総会の様子



総会の様子



ごあいさつする鶴岡支部長



西村新支部長のご挨拶



講演中の上田専務理事上田本部専務理事



千葉県経営者協会花澤専務理事のご挨拶



懇親会の様子



懇親会の様子



懇親会の様子



第55回 定時総会記念講演

(社) 日本経営士会 専務理事
上田 隆一 氏

演題 「地球環境問題から見た農商工連携事業の考察」

日本経営士界の本部専務理事であります上田先生は、ISO14000S 環境マネジメント構築マニュアルである TEM を皮切りに古くから環境問題に力を注ぎ、現在では、NPO 法人 環境カウンセラー全国連合会 理事長をはじめとする、各環境関連の団体の理事等をお勤めです。

また、先生は千葉支部の ISO コンサルティング研究会に触発されて環境について研究されたとのことで千葉支部とも縁が深い方です。

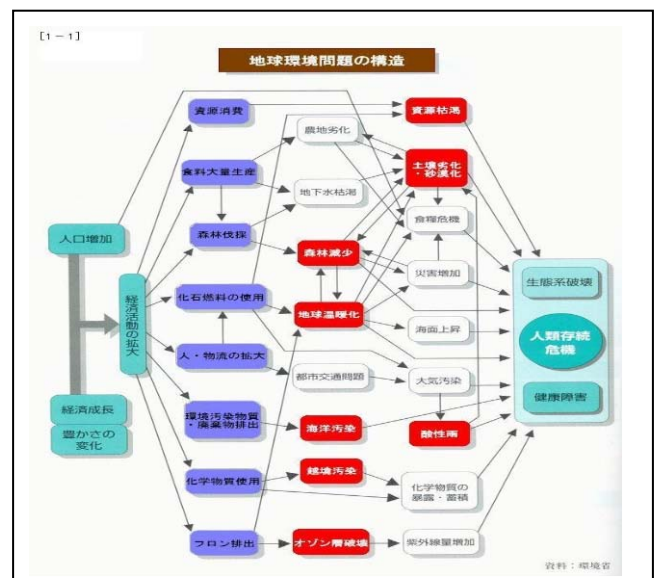
本講演は専門分野である環境と、経営士会本部でも注目されている「農商工連携」の関連を説くという新しい試みです。

地球環境問題の重要課題である、①地球温暖化防止対策；CO2 排出量削減、②循環型社会形成活動；Reduce、Reuse、Recycle、③自然との共生；生物多様性の維持について説明をいただきました。特に重点キーワードである以下のようなものが地球温暖化を考える上で大きな課題になっている。

- ・自然の吸収を超えるような CO2 の排出を止められるか
- ・都市部の「ヒートアイランド現象」の対策ができるか
- ・産業・工業部門の省エネ技術の前進は止められない
- ・業務部門・サービス部門も負けずに CO2 の削減を・・・
- ・運輸部門・自家用車の省エネ・エコドライブの推進を・・・
- ・中小規模事業者が主体的に CO2 削減に取り組むには・・・

また、環境省から示された地球環境問題の構造に関する図（右図）は、環境問題の構図とそれぞれの関連が描かれており、環境問題を俯瞰するにはとてもわかりやすいものです。

ヒートアイランド現象がなぜ起こるの原因とその対策として、ヒートアイランドが発生するメカニズムの解説をいただき、特に日本の都市部の舗装面の増加により、熱を蓄えて夜間に放熱する仕組みになっていることで、屋上緑化などの取り組みの意義の大きさが理解することができました。また天空率という目新しい



言葉が、その減少によりビルの壁面間で赤外線を反射しあってヒートアイランドに拍車をかけていることを意味しているそうです。

日本産業界の努力と技術の成果では、日本の省エネ技術が世界に冠たるものであるということがわかり、この技術を使って世界の CO2 削減に大きく貢献することができるのとこと世界温暖化防止に一役買えることがわかり日本の技術も捨てたものではない。しかし工業界の省エネ・CO2 削減は限界に近づき、特に流通、一般家庭の CO2 削減が今後のテーマであるとのことです。

各家庭でもできる温暖化対策の取り組みとして、

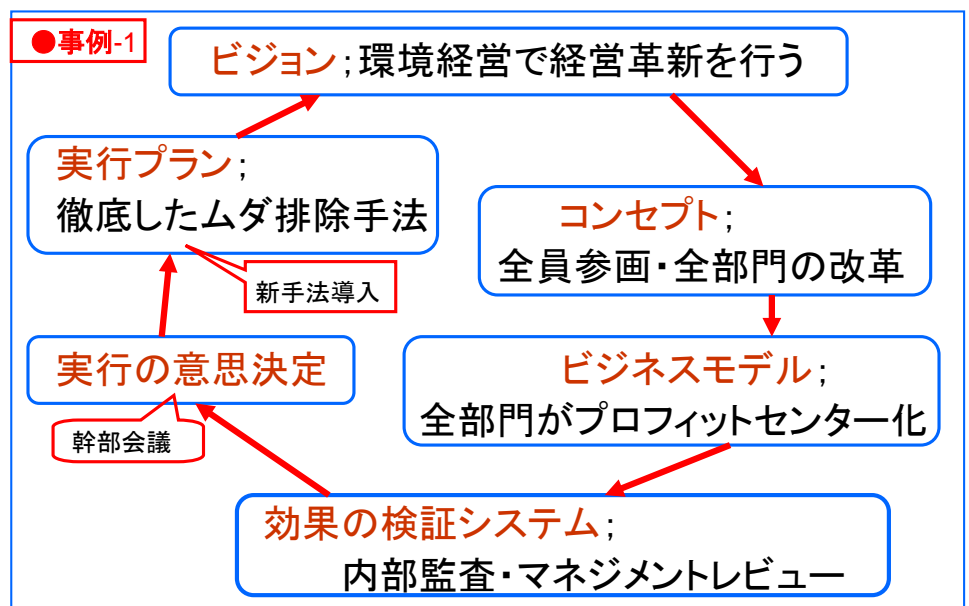
- ・住宅のエコ改修；窓・サッシ・断熱・節電・緑化・・・
- ・自宅のブランド化；太陽光発電・エコキュート・エコ照明
- ・自動車の対策；やめる、カーシェアリング・ライド・アンド・パーキング、相乗り、自転車利用、エコドライブ・・・

先生も自動車をやめられたとことで、理論だけではなくエコを実践されている姿に深く敬服いたします。

このような状況の中で中小企業であるからといって CO2 削減に取り組まないということが通らなくなってきました。CO2 削減に取り組むことは「経営革新」であるとの考えから、先生は埼玉同友会で「ビジョン：環境経営で経営革新を行う」ということを唱えられています。

後半は、環境経営ということについてお話をいただきました。

人間の作業活動は、開発による生活環境破壊、資源として過度な商業利用、水質汚濁、気候変動などで、野生生物を滅ぼしています。現在の環境破壊は恐竜を滅ぼした隕石墜落の影響より大きく、生態系を破壊し生物多様性を失くしている。



生物環境の保護のため、省エネによる低炭素社会、省資源による循環型社会を実現しなくてはならない。より、積極的に生物多様性を保護するために、自然との共生社会に変革する必要がある。

しかし、その中でもサンゴに共生して CO2 の供給を受けていた褐虫藻が温暖化の影響で死滅・離脱、サンゴは光合成の恩恵が受けられず、死滅するサンゴの「白化」という現象は、一期個人、一地方を越えて、広く国家・世界で検討すべき課題である。

まだ、事業者にとって「自然との共生社会構築」という問題は敷居が高すぎるようであるが、フットプリントの整備などで「生態系・生物多様性保護」の取り組みが充実させられるのではないかと。

先生は中小規模事業が相応しい生物多様性とビジネスのマッチング(アイデア)として提案しておられる。

農林水産業：安全な食材、養殖・資源保護、間伐・森林保護

商工業：地産地消、適正価格、端材利用

農商工が連携することで、生物多様性（種、DNA、生態系）を保護することになる。

日本経営士会の推進する農商工連携事業を通じて、地球環境保全・自然との共生の実現ことが大事である。

(1)農(林・漁)業者への期待；Innovators として意欲的に

①オーガニック・無農薬農・林・漁業への取り組み

②生態系への配慮・周辺の農地・水域の生態系に影響のない事業

③「有機的環境」＋「無機的環境」の両者に悪影響のない事業

(2)商・工業者への期待；Innovators として意欲的に

①農・林・漁業者から適正価格による仕入れ

②物づくりの工程の低炭素化・端材も生かす物づくり

③流通工程の低炭素化・容器包装の簡素化

(3)消費者への期待；マスプロ・マス消費・マス Recycle から脱却

①近隣商店会との連携；商店街の復活と活性化に連携

②ゼロエミッション買い物、多品種・少量の買い物

(4)農(林・漁)・商・工・消が全て [Win⇔Win⇔Win⇔Win] の関係になる

農商工すべて Win-Win の関係になることが重要であり、それは同時に一般消費者である私たちもマスプロ・マス消費・マス Recycle から脱却することが求められている。

エコという言葉、CO2 削減という言葉の意味だけでなく、どのようにそれに対応すればよいか。先生の話は、一市民としても深く考えさせられる内容でした。

研修・研究会日程

	本部支部行事・支部行事	月例研修会	研究会	MPP
	事務局	山田 一	若月英司、西村 豊	中嶋清介
4月	11日(土) 幹事会 24日(土) 幹事会 船橋市中央公民館 13:00～15:00	24日(土) 月例研修会 船橋市中央公民館 15:00～18:00 テーマ:環境関連	18日(日)コンサル研 15:00～18:00 12日(月)農業・観光研 18:30～20:30	
5月	8日(土) 千葉支部総会 京葉銀行文化プラザ 13:00～定時総会 14:30～特別講演会 「地球環境問題から見た農商工連携事業の考察」		17日(月)農業・観光研 18:30～20:30	
6月	11日(金) 本部総会 26日(土) 幹事会 船橋中央公民館 13:00～15:00	26日(土) 月例研修会 船橋市中央公民館 15:00～18:00 テーマ:	20日(日)コンサル研 15:00～18:00 14日(月)農業・観光研 18:30～20:30	
7月	31日(土) 幹事会 船橋中央公民館 13:00～15:00 公開講演会 (千葉県経営者協会)	31日(土) 月例研修会 船橋市中央公民館 15:00～18:00	12日(月)農業・観光研 18:30～20:30	
8月	28日(土) 幹事会	28日(土) 月例研修会		
9月	25日(土) 幹事会	25日(土) 月例研修会	13日(月)農業・観光研 18:30～20:30	
10月	30日(土) 幹事会	30日(土) 月例研修会	18日(月)農業・観光研 18:30～20:30	
11月	27日(土) 幹事会	27日(土) 月例研修会	15日(月)農業・観光研 18:30～20:30	千葉支部 MPP
12月	18日(土) 幹事会 年末懇親会	18日(土) 月例研修会	13日(月)農業・観光研 18:30～20:30	
1月	29日(土) 幹事会 公開講演会	29日(土) 月例研修会		
2月	26日(土) 幹事会	26日(土) 月例研修会	14日(月)農業・観光研 18:30～20:30	北関3支部合同 MPP
3月	26日(土) 幹事会	26日(土) 月例研修会	14日(月)農業・観光研 18:30～20:30	

会議・研究会開催報告

第1回支部幹事会

平成22年4月11日(土) 13:00~15:00

場 所 船橋市中央公民館

参加者 鶴岡義明、大河内国治、西村 豊、鈴木伸一、山田 一、小塚彦明、中嶋清介、榎田國男、
上條靖芳、岩野邦久、藤江隆平

1. 報告事項・選挙結果報告
2. 平成22年度事業計画について
3. 定時総会段取りについて
4. その他

第2回支部幹事会

平成22年4月24日(土) 13:00~15:00

場 所 船橋市中央公民館

参加者 西村 豊、鈴木伸一、山田 一、大塚亜喜雄、小塚彦明、林 久雄、中嶋清介、榎田國男、
上條靖芳、鶴岡義明、岩野邦久、藤江隆平

1. 総会資料と段取りについて
2. その他報告事項

第3回支部幹事会

平成22年5月29日(土) 13:00~15:00

場 所 船橋市中央公民館

参加者 西村 豊、鈴木伸一、榎田國男、林 久雄、中嶋清介、上條靖芳、岩野邦久、藤江隆平

1. 定時総会結果報告について
2. 支部ホームページ更新について
3. 月例研修会と公開講演会の計画について
4. その他報告事項

3 月度月例研修会

平成 22 年 3 月 27 日(土) 15:00～17:00

場 所 船橋中央公民館

参加者 岩野邦久、大塚亜喜雄、上條靖芳、小塚彦明、鈴木伸一、高野充昭、千葉道生、鶴岡義明、
西村豊、林久雄、藤江隆平、山田一、若月英司

テーマ 千葉支部専門研究会活動報告

講 師 若月会員（コンサルティング研究会代表）
西村・高野・山田会員（農業・観光研究会）

今期最後の月例研修会で、締めくくりの意味も含め支部内で活動を行っている専門研究会（コンサルティング研究会、農業・観光研究会）の活動報告会を開催。

1. コンサルティング研究会

<平成 21 年度上期>

1) 市川商工会議所共催、経営講演会 (H21.6.17)

- ①中小企業に適した生の顧客情報で、営業力強化（林堯夫会員）
- ②生産性の飛躍的向上と納期の大幅短縮で顧客満足を（若月英司会員）
- ③不況時代の利益倍増法-間違いを直せば利益は増える（大久保篤会員）
- ④リーダーシップと企業の雇用されうる人材（岩野邦久会員）

参加者 27 社 33 名

個別相談会 4 社から依頼あり一日無料診断要請 4 社から依頼あり（後日訪問）

2) 市川商工会議所、一日無料診断の実施 (H21.7.11～29)

3) 県内工業団地協同組合加入企業経営者との情報交流会開催の検討

下期実施の計画につき、千葉県商工労働部経営支援課、千葉県商工連合会に関係情報収集

4) 千葉県商工会議所会報に、一日無料診断広報掲載

<平成 21 年度下期>

1) 県内工業団地協同組合加入企業経営者との情報交流会開催について、千葉鉄鋼団地、四街道工業団地、流山工業団地、市川工業工業団地、船橋機械金属工業団地に対し申し入れを行う。

2) 千葉県経営者協会加入企業の経営者・管理者との経営改善研究会開催について、申し入れを行う。

<平成 22 年度の活動計画>

1) 千葉県経営者協会との共催による会員企業向けセミナー開催（7月～2ヶ月に1回程度）

2) 県内工業団地協同組合参加企業との情報交流会の開催

3) 中小企業の一日無料診断の実施

4) 研究会（会員相互の情報交換、対外活動準備等を2ヶ月に1回）開催

2. 農業・観光研究会

H21年6月にキックオフミーティングを開催、H22年3月までに都合9回nミーティングを実施。活動メンバーは、現在13名。(当初は外部メンバーも含め18名であった)

1) 千葉県農業の課題

- ・ 農業者の収益向上
- ・ 販売への意識強化
- ・ 販売に専念出来ない農家への支援
- ・ 農産物直売所の整備、活性化

2) 千葉県農業の方向性

- ①大規模化・組織化・・・農業事業者の法人化
- ②特色の明確化・・・外部へのアピール
- ③川下への意識高揚・・・経営、マーケティングの機能充実。農商工連携。

3) H22年度の活動計画

- ①千葉県農林水産部担い手支援課事業への応札
 - ・ アグリトップランナー育成サポート事業
 - ・ 農業法人に対する経営支援に特化したサポート
- ②農商工連携支援コーディネータ養成講座の開催
 - ・ 経営士会本部主催のプロジェクト講座受講者による支部内講座を開催し、推進員を育成する
- ③環境ビジネスへの取組
 - ・ 千葉県経営者協会との取組による県への提案
- ④千葉の魅力発信戦略策定（観光企画開発）
 - ・ 千葉県の観光をテーマとした農業・漁業への繋がりや、環境問題への取組にも踏み込んで活動

4 月度月例研修会

平成 22 年 4 月 24 日(土) 15:00~17:00

場 所 船橋市中央公民館

参加者 井形元彦、五十嵐昭平、榎田國男、大塚亜喜雄、上條靖芳、小塚彦明、鈴木伸一、

東野耕一郎、鶴岡義明、新見健司、西村 豊、藤江隆平、山下恭司、山田 一

テーマ 改正省エネ法と企業における環境保全

講 師 林 久雄 会員（経営士会環境分野ビジネスエコリーダー）

「改正省エネ法」といわれる「エネルギーの使用の合理化に関する法律」は、1979 年 10 月 1 日に施行された「省エネ法」の 7 回目の大きな改正（政省令などを除く）を指す。2008 年 5 月 30 日に告示され、施行日は 2010 年 4 月 1 日となる。主な変更点は、1.エネルギー管理義務対象が、工場・事業場単位から事業者単位（企業単位）となったこと、2.特定連鎖化事業者（フランチャイズチェーン）も新たに規制対象となったこと、3.定期報告書・中長期計画書の提出が、工場・事業場単位から企業単位へととなったこと、である。特定事業者・特定連鎖化事業者にとっては、企業におけるエネルギーの集計、CO₂ 排出量の算出、エネルギー管理者の選定、企業全体での定期報告書の作成、中長期計画の作成、事業場毎の管理標準の作成等、急激に負担が増して来たといえる。企業全体のエネルギー使用量を把握し、トータル使用量が 1,500 k l を超える場合は経済産業局への届出を行わなければならない、本年度の届出により特定事業者・特定連鎖化事業者の指定を受けることになる。

そこで注目されてくるのが、前回の講義の中でも参加者の興味の的になっていた「ESCO 事業」である。Energy Service Company といわれるこの事業は、改正省エネ法により義務化された報告業務等も追い風となり、今後ますますニーズが高まる事業として注目される。林会員によると、最低でも電気屋、土木屋、機械工事屋の 3 者が集まればある程度の請負事業が出来るという。これでビルオーナーと契約をすれば、長い付き合いが始まり、毎月固定的な収入が期待できる。

契約には、①ギャランティード・セイビングス（自己資金）契約と②シェアード・セイビングス（民間資金活用型）契約とがある。①においては一般的に、ビルオーナーと ESCO 事業者との間にはパフォーマンス契約、ビルオーナーと金融機関との間には融資に関する契約が交わされる。それに対し②においては、ESCO 事業者が直接金融機関からの借入れ等で資金調達を行う為、ビルオーナーは一切の金融負担を負わないことになる。そして ESCO 事業者はビルオーナーに対し、省エネルギー改修による光熱水費などの削減を保証し、ビルオーナーは光熱水費削減分から一定割合を ESCO 事業者報酬として支払うという契約である。しかし、期待通りの効果が認められない場合には、無償で現状復帰を強いられる場合も考えられる為、優良技術を持つ業者と組むことがポイントとなる。

環境ビジネスは、この他幾つかのビジネスモデルが存在すると言われている。千葉支部としては、もうひとつの事業活動の柱として大いに期待の持てる分野であると言えることから、更に多くの会員を募り、更なる研修会を通じて有志による本格的な「環境ビジネス研究会」に仕上げていくことが今後の課題である。

3月コンサルティング研究会

平成22年3月21日(日) 15:00~17:30

場 所 近江技術史事務所

講 師 近江堅一 会員

参加者 近江堅一、河井成夫、大久保 篤、岩野邦久、林 堯夫、藤田佳恵、若月英司

- (1) 平成22年度コンサルティング研究会事業計画(案)と予算(案)
- (2) 当研究会の進め方
 - ・対外的活動
 - ・顧客をつかむためのアイデア、新しいテーマについての研究会内部の活動

5月コンサルティング研究会

平成22年5月23日(日) 15:00~17:30

場 所 近江技術史事務所

講 師 近江堅一 会員

参加者 近江堅一、大久保 篤、林 堯夫、近江良和、若月英司

- (1) (社)千葉県経営者協会との共催による同協会会員向け「中小企業の経営改善研究セミナー」
- (2) 改善メンバーが「やる気になる」“O式”5つのポイント
- (3) 新規追加事業の進め方

第55回千葉県会定時総会

平成22年5月8日(土) 13:00~14:00

場 所 千葉市京葉文化プラザ

参加者 榎田 國男、大塚 亜喜雄、上條 靖芳、熊坂 清弘、小塚 彦明、鈴木 伸一、鈴木 健郎、
鈴木 弘道、関 彦次郎、高野 充昭、鶴岡 義明、中嶋 清介、西村 豊、林 久雄、
原 弘行、山下恭司、山田 一、島川 憲夫(神奈川県)、大橋 正和(東京支部)

鶴岡支部長のあいさつの後、議長選出。議長より書記、議事録署名人を指名のうえ、昨年の報告と以下の議題について審議され承認された。

- (1). 平成22年度事業報告承認の件
- (2). 平成22年度決算報告承認の件
- (3). 平成22年度監査報告の件
- (4). 平成22年度事業計画(案)承認の件
- (5). 平成22年度予算(案)承認の件
- (6). 支部規定改正の件

事後、記念講演「地球環境問題から見た農商工連携事業の考察」と題し(社)日本経営士界 専務理事 上田 隆一先生より講演いただきました。その後、場所を買って懇親会が執り行われ歓談の後散会した。



記事ご協力をお願い

記事、投稿をお待ちしております。ご協力お願いいただける方は広報担当 鈴木までお送りください。

TEL : 090-5446-2808 FAX : 04-7133-1303

MAIL : shin_suzuki@nifty.com

研修、研究会実施のお知らせ

◇月例研修会のご案内

6 月度

日 時 平成 22 年 6 月 26 日(土) 15:00～18:00

場 所 船橋市中央公民館

テーマ 「航空会社の立ち上げとコンサルティング」

講 師 山下 恭司 会員 (日本経営士会千葉支部 新入会員 2010年3月入会)

プロフィールにもあるように航空業界でご活躍の傍ら、大学院3研究科をご卒業、さらには、幾つかの国家資格もお持ちの学殖豊かな方です。

今注目を浴びている「航空業界」をテーマにご自身のご経験も交え、お話しを伺います。ANA に長年勤務され航空業界の裏側を知り尽くした山下先生があらたな航空会社をどう立ち上げるかという珍しい事例について貴重な体験を講演していただけます。ぜひご期待ください。

講師プロフィール 山下 恭司 (やました きょうじ)

昭和 22 年 静岡県磐田市に生まれる

昭和 45 年 全日本空輸株式会社入社 (運航部門勤務)

昭和 49 年 9 月、「運航管理者」国家試験取得、国内線・国際線の運航管理者として従事、運航路線立上げの傍ら大学院 3 研究科 (商学・経済学・法学) を修了

昭和 60 年 税理士資格取得

平成 16 年 株式会社日本飛行船出向

平成 19 年 全日本空輸株式会社定年退職

平成 20 年 株式会社日本飛行船退社

平成 20 年 鈴木株式会社 現「フジドリームエアライン」入社

平成 21 年 フジドリームエアライン 契約期間満了退社

平成 22 年 社団法人日本経営士会入会

7 月度

日 時 平成 22 年 7 月 31 日(土) 15:00~18:00

場 所 船橋市中央公民館

テーマ 「千葉県の果樹農業から見た千葉県農業」

講 師 千葉県職員 北野 聡氏

「日本ナシ」産地の状況を中心に、千葉県農業の一面をご紹介します。千葉県農業の問題、課題としては、労力不足、若手の育成、リーダーの不在、販売力、宣伝力、流通、直売所問題等々、ふと考えただけでも多くの問題、課題がありますが、これに対して千葉県果樹の現状からお話が出来ればと思っています。

8 月度

日 時 平成 22 年 8 月 28 日(土) 15:00~18:00

場 所 船橋市中央公民館

テーマ 「融資申込で社長を納得させる粉飾決算の限度」

～粉飾決算の事例からコンサル指導のポイントを考える～

講 師 茨城県会八代 穰 会員

この不況下、信用保証協会や銀行は決算数字を見てなかなか融資に応じてくれない。
資金・事業計画にも半信半疑、担保力も低下している。社長をサポートするコンサルタントは、
この窮状にどんなアドバイスを・・・ある経済事犯からのヒントをお話したい。

講師プロフィール 八代 穰 (やしろ ゆずる)

昭和 11 年秋田市に生まれる。

昭和 37 年東京経済大学 (経済) 卒、昭和 40 年東京理科大学 (工学) 4 年修了

昭和 43 年山九 (株) 入社 経理・IE 企画・物流部長を歴任

平成 2 年退社、(株) ケーズデンキ入社 POS システム&出店業務に携る。

平成 9 年常務取締役で退任後、ナカムラデンキ (株) (千葉・柏市) 代表取締役に就任、3 年後円満退社
現在 有限会社つくばネットプランの代表取締役。

プロコンの専門領域

物流企画 (配送 C・工場倉庫)、店舗・商店街診断、駅ビル再開発事業、企業の合弁&システム管理業務

平成 1 年社団法人日本経営士会入会

9 月 度

日 時 平成 22 年 9 月 25 日(土) 15:00~18:00

場 所 船橋市中央公民館

テーマ 「ちょっと便利な E x c e l の使い方」

講 師 東京支部 大橋正和 会員 (新入会員 2010年3月入会)

I T 技術に明るい大橋先生が、E x c e l の使い方を詳しく説明いたします。使い方の基本からこんな使い方があったのかとびっくりすることまで、E x c e l の妙技をお楽しみに。

10 月以降の月例研修についてはホームページに掲載いたします。

